

子どもたちに平和な地球を

マスコミ分科会で「報道偏向にストップを」

7/23~24 第51回 日本母親大会



笠松運動公園体育館にての
日本母親大会・全体会

「憲法九条は世界の宝、子どもたちに平和な地球を」と色とりどりの百枚のタペストリーが会場内に飾られていた。

「NHKへの政治介入が問題となった発端である『女性国際戦犯法廷』問われる戦時性暴力の番組改変と報道について、川崎さんと西野さんからそれぞれ真相を話していただきました。討論では、NHKの問題

第五一回日本母親大会は7月23日と24日の二日間、茨城県ひたちなか市で開催されました。

一日目は笠松運動公園体育館にて全体会があり、世界的な規模で人権にとりくむ団体「アムネスティ・インターナショナル日本支部」特別顧問のイーデス・ハンソンさんが記念講演。『男か女か』で線を引いたり、

出身地や学歴の違いで差別するのは間違いだとのべ「いろいろあるわ。ちこちもかめへん（違ってもかまわない）」と話す会場から大きな拍手が沸きました。

午後の部では、伊奈かつべいさんと大原優子さんの「お国言葉と平和」と題して憲法トークがあり、ユニーモアあふれる語り口に参加者は熱心に聞き入り、笑いに包まれました。

「NHK問題の真相から見えるもの」と題したマスコミの分科会は、百四十七人が参加し、熱気ある話し合いとなりました。助言者は、元NHK政治記者の川崎泰資さんとバウネットジャパン（戦争と女性への暴力日本ネットワーク）の共同代表の西野瑠美子さん。



女性協議会

いました。

体育館の中も野外の物販コーナーも大勢の人で、暑さに負けないくらいの熱気に満ちた全体会でした。

二日目は、つくば市の筑波大学キャンパスで五六の分科会とシンポジウムが開かれ、二日間で一万二千五百人が参加して閉幕しました。

職場ビラコンクールの選定について

民放労連女性協議会

7月末に行われた第一〇一回民放労連定期大会において、最優秀作品となった職場ビラについての見解を述べさせていただけます。

まず、職場ビラは職場から発信し、構内の共感を得て大きな声とするため有効であり、そのユニークな発想など、毎年、コンクールも多く作品が選出されるものと認識しています。

その独自性に対して、否定するものではなくあ

りませんが、今回の作品が最優秀作品となったこと、大変残念であると感じています。弱者として共感を得るためにこの

ことを想定していないのか？甚だ疑問を感じざるを得ません。

そして無意識かもしれませんがここに使用した

ような画像やコピーが適当であったのか、同時にこれが配布および掲載されることに対して不愉快であると感じる人がいる

報道機関としての民放という立場において、賞の選定には、些か問題があったのではと感じます。一般投票での高得点が今回の受賞につながったわけですが、その一票に対して認識を新たにしていたいただきたいと同時に賞の選定において基準の見直しをお願いする次第です。

※女性協議会の要請後、本部で執り行われ、選定基準を明らかにすることになりました。

11/19~20

第50回はたらく女性の中央集会に参加してみませんか

各単産、女性団体が構成された実行委員会が主催となり、11月19、20日の両日、はたらく女性の中央集会が東京・日本教育会館ホールで開催されます。一日目はシンポジウムと分科会。二日目の全体会では「仕事と家庭が両立できない日本ってヘン！一国際労働基準で日本を変えよう」と題して弁護士の牛久保秀樹さんが講演。続いて、ドキュメンタリー映画監督の海南友子（かな・ともこ）さんの講演と映画紹介。敗戦時に中国各地に放置した大量の毒ガス兵器などが今なお多くの被害者を生んでいるが、日本政府は賠償に応じない。その被害者約60人を取材して制作した「にがいの大地から」が日本ジャーナリスト会議（JCJ）の新人賞に輝きました。

NHK報道ディレクターから独立して、フリーで奮闘している海南さんのお話を聞いてみませんか。詳しい内容については、後日ご案内いたします。

MIC 女性連絡会 秋の学習会

◇MIC 女性連絡会・出版女性会議共催◇
「男女雇用機会均等法」の改正を考える
—真の男女共同参画社会をめざして—



*入場無料

【日時】10月6日(木) 18時30分~20時30分

【場所】出版労連本部 会議室(富士ビル3F)

御茶ノ水駅 徒歩5分

【講師】今野久子氏(弁護士・東京法律事務所)

◇私たちは法律に守られ、本当に男女平等で人間らしい働き方が出来ているのでしょうか？

◇「男女雇用機会均等法」は私たちが働く上で役に立っているのでしょうか？

◇来年改正される均等法は、今どのような観点で議論されているのでしょうか？

※次々に改悪されようとする労働法制と財界のねらいも視野に入れ、論点を整理し、いま何をしていくべきなのかを一緒に考えましょう。

問い合わせ：日本マスコミ文化情報労組会議まで

TEL: 03-3816-2988

に留まらず、他のマスコミ機関についても強い要望がでました。分科会の締めくくりに、「NHKをはじめ、報道の偏向をストップさせる運動を進めましょう。放送事項が確認されました。送を市民の手に取り戻していきましょ」と申し合いました。

民放労連女性協議会

第32回定期大会開催のお知らせ

◆定期大会 10月1日(土) 13時~18時30分
(受付、12時30分~)

※大会終了後、交流会18時30分~20時30分

【会場】主婦会館 プラザエフ 4階「シャトレ」

東京都千代田区六番町15

JR・地下鉄四谷駅から徒歩1~2分

◆見学分科会 10月2日(日) 10時~12時30分

【場所】「わたしの戦争と平和資料館」

東京都新宿区西早稲田 2-3-18 AVACOビル2階

地下鉄東西線早稲田駅から徒歩5分 入場料500円

※ 各単組から多数の参加により、大会を成功させましょう。

◇「わたしの戦争と平和資料館」戦時性暴力の被害と加害の資料を集めたアクティブミュージアム「わたしの戦争と平和資料館」が8月1日オープン、2002年に亡くなられた松井やよりさんの遺志が実現しました。「女性国際戦犯法廷」の全資料が収蔵され、日本軍「慰安婦」制度など戦時下の性暴力に焦点を当てた、日本で初めての資料館です。館長の西野瑠美子さんは、「ここを平和と非暴力の未来を実現するための行動を起こしていく拠点としたい」と語っています。※10月2日は、資料館の方から解説をしてもらいます。



「わたしの戦争と平和資料館」の中の部屋